

令和2年度 福祉のまちづくり研究所企画運営委員会 【事前評価】

No.	研究課題名	コメント
1	モーションパラメータを活用したAI技術	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者の在宅での運動促進や継続的な健康評価に繋がり、フレイル予防に繋がるのが期待される。 ・これまで蓄積してきた高齢者の予防介護へのAI 技術のノウハウをIoT 技術と連携して適用範囲のさらなる拡大を図る先駆的な取り組みとして評価できる。 ・フレイル評価におけるAIを活用したビッグデータ処理について、データ処理の意図および解釈の合理性についての明示化すること。 ・A I 技術開発については他機関での取り組み状況についても情報収集しながらより一層の独自性の発揮を期待する。
2	高齢者や障害者向けのモビリティ技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキ力に関するデータと地図情報データとのつながりにより一般自動車運転者に対する活用の基礎研究として期待される。 ・自走式車椅子による移動のニーズをきっちりととらえ、生活場面において、どのような経路情報が必要とされているのかを明確にするとともに、経路探索における路面情報の取り込み方を検討すること。 ・対象とする高齢者や障がい者の身体特性との関連性を明確に示されたい。 ・バリア情報は変動要因が大きく、常に正確なバリア情報の提供が求められ、バリア情報の自動収集方法などの検討も望まれる。